
【NITEケミマガ】 NITE化学物質管理関連情報 第193号

2014/04/23配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

なお、本メールマガジンは平成26年度独立行政法人製品評価技術基盤機構委託業務として、ケイ・アンド・アイ有限会社に記事作成を委託しております。

連絡先：chem-manage@nite.go.jp

----- 4/17～4/23までの更新情報 -----

●お知らせ

【2014/04/23】

・来週と再来週のNITEケミマガはお休みさせていただきます。次号（194号）の配信は5月14日（水）です。

●製品評価技術基盤機構(NITE)

【2014/04/21】

・製品評価技術基盤機構創立記念日(5月1日)のお知らせ

→ <http://www.nite.go.jp/gen/osirase/osirase20140417.html>

5月1日（木）は、弊機構創立記念日のため、閉庁とさせていただきます。各種お問い合わせにつきましても対応を休止させていただきます。

●経済産業省

【2014/04/21】

・「化学物質の輸出承認について」の一部改正について（PDF形式：81KB）

→ http://www.meti.go.jp/policy/external_economy/trade_control/boekikanri/download/export/2014/20140421_136_ex.pdf

標記資料が掲載された。

●厚生労働省

【2014/04/15】

・ 安衛法名称公表化学物質情報 平成26年3月27日公示分 (193物質)

→ http://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/201403kag_new.htm

標記情報が更新された。

●国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS)

【2014/04/16】

・ 食品安全情報 (化学物質) No.08 (2014.04.16)

→ <http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/foodinfonews/2014/foodinfo201408c.pdf>

標記資料が掲載された。食品の安全性に関する国際機関や各国公的機関等の最新情報が紹介されている。

【2014/04/18】

・ 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版を更新しました。

→ <http://www.nihs.go.jp/ICSC/>

→ <http://www.nihs.go.jp/ICSC/list/2012a-upd2.pdf>

以下のICSCが更新された。

・ ホルムアルデヒド

・ ホルマリン(37%溶液、メタノール不含)

●内閣府食品安全委員会

【2014/04/15】

・ 食品安全委員会 農薬専門調査会 (第47回) の開催について

【開催日：4月23日 (水)】

→ http://www.fsc.go.jp/osirase/nouyaku_annai47.html

4月23日に標記会合が開催される。議題は、

(1)専門委員紹介

(2)専門調査会の運営等について

(3)平成26年度食品安全委員会運営計画について

(4)座長の選出・副座長の指名

(5)各評価部会に所属する専門委員の指名、各部会の座長及び

- 副座長の指名、幹事に所属する専門委員の指名
(6)農薬専門調査会の運営体制について
(7)その他

【2014/04/15】

- ・ 食品安全委員会 農薬専門調査会幹事会（第104回）の開催について
【開催日：4月23日（水）】

→ http://www.fsc.go.jp/osirase/nouyaku_annai_kanjikai_104.html

4月23日に標記会合が開催される。議題は、

- (1)農薬専門調査会幹事会の運営体制について
- (2)農薬（ジクロベニル、スルホキサフロル）の食品健康影響評価について
- (3)農薬（フェニトロチオン、マラチオン）の食品健康影響評価に関する審議結果（案）についての意見・情報の募集結果について
- (4)その他

【2014/04/15】

- ・ トランス脂肪酸に関する消費者委員会提出資料について

→ http://www.fsc.go.jp/sonota/trans_fat/the_consumer_commission_20140415.html
→ http://www.fsc.go.jp/sonota/trans_fat/the_consumer_commission_20140415.pdf

標記資料が掲載された。

【2014/04/17】

- ・ 食品安全委員会（第512回）の開催について
【開催日：4月22日（火）】

→ <http://www.fsc.go.jp/osirase/annai512.html>

4月22日に標記会合が開催される。議題は、

- (1)食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について
 - ・ 添加物 1品目
グルコン酸亜鉛
(厚生労働省からの説明)
 - ・ 特定保健用食品 1品目

朝食プロバイオティクスヨーグルトBifiX

(消費者庁からの説明)

(2)農薬専門調査会及び動物用医薬品専門調査会における審議結果について

- ・「ダイアジノン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

(3)器具・容器包装専門調査会における審議結果について

- ・「フタル酸ジブチル (DBP)」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

(4)食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見について

- ・農薬「スピロメシフェン」に係る食品健康影響評価について
- ・農薬「テブフロキン」に係る食品健康影響評価について
- ・農薬「フルフェノクスロン」に係る食品健康影響評価について
- ・農薬「ペンチオピラド」に係る食品健康影響評価について
- ・農薬「ミルベメクチン」に係る食品健康影響評価について
- ・農薬「レピメクチン」に係る食品健康影響評価について

(5)その他

【2014/04/17】

- ・食品を科学する—リスクアナリシス（分析）連続講座—の開催と参加者募集のお知らせ

→ http://www.fsc.go.jp/koukan/annai/tokyo_risk_analysis_renzoku26.html

→ http://www.fsc.go.jp/koukan/annai/tokyo_risk_analysis_renzoku26.pdf

下記の要領で標記セミナーが開催される。

日時及び講義テーマ:

平成26年 6月5日(木) 食品のリスクアナリシスとは? ～食品の安全を守る～

平成26年 7月3日(木) 相手を知ってやっつけよう ～主な細菌性食中毒の特

徴と対策～

平成26年 7月31日(木) 誰もが食べている化学物質 ～食品の加工貯蔵中の化学

変化の安全性～

平成26年 9月4日(木) 冷蔵庫に入れれば大丈夫? ～食品の保存を理解する～

平成26年10月2日(木) カフェインは危ない? ～コーヒーを科学する～

平成26年 11月6日(木) 動物の健康はヒトの健康 ～動物用医薬品を知る～

平成26年12月4日(木) からだの外に出ていくもの ～食べたものの行方～

場所:食品安全委員会事務局 会議室

(東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル22階)

定員:第一部及び第二部 各50名

申込期限:平成26年4月25日(金)

【2014/04/17】

- ・ 食品安全関係情報を更新しました（最新2週間（平成26年3月21日～平成26年4月4日）の海外情報はこちらから）

→ <http://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?keyword=L D 5 0>

http://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?keyword=L D 5 0&query=&logic=and&calendar=japanese&year=&from=struct&from_year=2014&from_month=03&from_day=21&to=struct&to_year=2014&to_month=04&to_day=04&areald=00&countryId=000&informationSourceId=0000&max=100&sort_order=date.desc

標記情報が更新された。

●中小企業基盤整備機構

【2014/04/18】

- ・ [J-Net21]REACH Q.426:EUバイオサイド規則の活性物質に認可された物質を確認する方法はありますか？

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/qa/426.html>

標記資料が掲載された。

●農林水産消費安全技術センター（FAMIC）

【2014/04/17】

- ・ [メールマガジン] バックナンバーに第530号を掲載しました。

→ http://www.famic.go.jp/mail_magazine/back.html

標記情報が更新された。

●日本貿易振興機構（JETRO）

【2014/04/15】

- ・ 上海市、自動車排ガスの「国5標準」を5月から実施?全国より3年以上早い導入に?（中国）

→ <http://www.jetro.go.jp/biznews/534b46b4ce0e0>

上海市は2014年5月から車両重量が3,500キログラム以下の軽型ガソリン車と一部の公共用ディーゼル車に対し、国5標準を実施する

ことを決定した。

5月以降は、同基準を満たさない車両は販売できなくなる。

●海外環境協力センター（OECC）

【2014/04/15】

・中国環境情報3月号を掲載しました。

→ <http://www.oecc.or.jp/contents/china/index.html>

標記資料が掲載された。内容は、中国政府（国務院、環境保護部）の環境政策の動き、地方（地方政府等）の環境情報、など。

●日本化学工業協会（JCIA）

【2014/04/21】

・2014年5月28日「日化協特別セミナー」開催

→ <http://www.nikkakyo.org/info/2314>

下記の要領で標記セミナーが開催される。

日時:平成26年5月28日（水） 13時30分～17時05分

場所:日経ホール（東京都千代田区大手町一丁目3番7号 日経ビル）

定員:610名

申込期限:平成26年5月23日(金)

内容:テーマ「化学産業にとっての持続的発展とその課題」

～世界の主要企業トップが語る、レスポンシブル・ケア、GPSと事業戦略及びエネルギー・気候変動問題への挑戦～

「レスポンシブル・ケア：持続的発展に向けての基盤」

ICCAレスポンシブル・ケアLG議長／ソルベイ

産業・政府関係担当部門長 ハンス・ユルゲン・コルテ氏

「GPS：グローバルな化学産業のプロダクト・スチュワードシップの向上」

ICCA化学品政策と健康LG共同議長／BASF SE 上級副社長

マーティン・カイザー氏

「ICCA：グローバルな化学産業の進歩に向けて」

ICCA化学品政策と健康LG共同議長／

ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー コーポレートディレクター
マイク・ウィット氏

「エネルギーと気候変動問題に向けたICCAと化学産業の挑戦」
ICCAエネルギーと気候変動LG議長／三菱ケミカルホールディングス
顧問 大塚 重徳氏

●OECD

【2014/04/15】

・ Guidance on grouping of chemicals, second edition

→ [http://search.oecd.org/officialdocuments/displaydocumentpdf/?cote=env/jm/mono\(2014\)4&doclanguage=en](http://search.oecd.org/officialdocuments/displaydocumentpdf/?cote=env/jm/mono(2014)4&doclanguage=en)

OECDは、化学物質のグループ分けに関する報告書第二版を公開した。

●世界保健機関（WHO）

【2014/04/15】

・ Identification of risks from exposure to ENDOCRINE-DISRUPTING
CHEMICALS at the country level

→ <http://www.euro.who.int/en/publications/abstracts/identification-of-risks-from-exposure-to-endocrine-disrupting-chemicals-at-the-country-level>

WHOは、各国レベルでの内分泌かく乱物質の暴露によるリスク特定についての報告書を掲載した。

●欧州化学品庁（ECHA）

【2014/04/14】

・ The Biocidal Products Committee adopts its first opinions

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/the-biocidal-products-committee-adopts-its-first-opinions

殺生物性製品委員会(BPC)は、Permethrin及びTralopyrilの3つの用途に関する意見を採用した。

【2014/04/15】

- Board of Appeal News item: Board of Appeal's decision examines the substance identity requirements for a UVCB substance
→ <http://echa.europa.eu/information-on-chemicals/testing-proposals/current>

ECHAは、REACH規則に基づき、不必要な動物試験を回避するための試験法の提案に関するパブリックコンサルテーションを開始した。
対象物質は以下の19物質で、コメントの提出期限は5月30日。

- bis(2-ethylhexyl) peroxydicarbonate (CAS:16111-62-9)
- trimethyl borate (CAS:121-43-7)
- 1,3-dihydro-4(or 5)-methyl-2H-benzimidazole-2-thione, zinc salt (CAS:61617-00-3)
- strontium hydroxide (CAS:18480-07-4)
- Phenol, 4,4'-(1-methylethylidene)bis-, oligomeric reaction products with 2-(chloromethyl)oxirane, reaction products with 1,3-benzenedimethanamine (CAS:113930-69-1)
- 2-phenoxyethyl acrylate (CAS:48145-04-6)
- 1,3-dimethylimidazolidin-2-one (CAS:80-73-9)
- Reaction mass of 2-(1,1-dimethylpropyl)anthraquinone and 2-(1,2-dimethylpropyl)anthraquinone
- 2-imidazolidone (CAS:120-93-4)
- 2-ethyl-4-methylimidazole (CAS:931-36-2)
- dimethyl cyclohexane-1,4-dicarboxylate (CAS:94-60-0)
- Polyphosphoric acids, esters with triethanolamine, sodium salts (CAS:68131-72-6)
- 1,3-dihydro-4(or 5)-methyl-2H-benzimidazole-2-thione (CAS:53988-10-6)
- Reaction Products of alcohols, C14-18, C18 unsat., esterified with phosphorus pentoxide and salted with amines, C12-14,-tert-alkyl
- 2-phenylethanol (CAS:60-12-8)
- 1-methylimidazole (CAS:616-47-7)
- anisole (CAS:100-66-3)
- Phosphoric acid, mono- and bis(branched and linear pentyl) esters (CAS:84418-71-3)
- 4,4'-Isopropylidenediphenol, oligomeric reaction products with 1-chloro-2,3-epoxypropane, reaction products with 3-aminomethyl-3,5,5-trimethylcyclohexylamine (CAS:38294-64-3)

【2014/04/15】

- A new ECHA-EASA report highlights the key aspects of the

authorisation process for the aviation industry

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/a-new-echa-easa-report-highlights-the-key-aspects-of-the-authorisation-process-for-the-aviation-industry

ECHAと欧州航空安全庁(EASA)は、作成した報告書の中で、航空業界における耐空性とREACH認可の両立のための指導・助言を提供している。

【2014/04/15】

- ・ ECHA launches R4BP 3.1, the updated submission software for biocidal applications

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/echa-launches-r4bp-3-1-the-updated-submission-software-for-biocidal-applications

R4BP3のアップデート版R3BP3.1が公開された。

【2014/04/16】

- ・ New version of REACH-IT clarifies communication between ECHA and companies

REACH-IT

→ http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/new-version-of-reach-it-clarifies-communication-between-echa-and-companies

IUCLID

→ <http://iuclid.echa.europa.eu/index.php?fuseaction=home.news&type=public&id=70>

REACH-IT、及びIUCLIDのアップデート版が公開された。

●米国環境保護庁 (US EPA)

【2014/04/17】

- ・ EPA announced the availability of preliminary materials (literature search and search strategy, evidence tables, and exposure-response figures) for hexavalent chromium (Cr(VI)) for public review and comment

→ http://www.epa.gov/iris/publicmeeting/iris_bimonthly-jun2014/mtg_agenda.htm

EPAは、6月25日～27日にバージニア州アーリントンで開催されるIRISのパブリックミーティングに関連して、六価クロムの評価に関する準備資料を公開した。今後、無機ヒ素に関する準備資料も公開する予定。

●セミナー情報

【2014/04/17】

- ・【内閣府食品安全委員会】食品を科学する—リスクアナリシス（分析）連続講座—の開催と参加者募集のお知らせ

→ http://www.fsc.go.jp/koukan/annai/tokyo_risk_analysis_renzoku26.html
→ http://www.fsc.go.jp/koukan/annai/tokyo_risk_analysis_renzoku26.pdf

下記の要領で標記セミナーが開催される。

日時及び講義テーマ:

平成26年 6月5日(木) 食品のリスクアナリシスとは? ~食品の安全を守る~

平成26年 7月3日(木) 相手を知ってやっつけよう ~主な細菌性食中毒の特徴と対策~

平成26年 7月31日(木) 誰もが食べている化学物質 ~食品の加工貯蔵中の化学変化の安全性~

平成26年 9月4日(木) 冷蔵庫に入れば大丈夫? ~食品の保存を理解する~

平成26年10月2日(木) カフェインは危ない? ~コーヒーを科学する~

平成26年 11月6日(木) 動物の健康はヒトの健康 ~動物用医薬品を知る~

平成26年12月4日(木) からだの外に出ていくもの ~食べたものの行方~

場所:食品安全委員会事務局 会議室

(東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル22階)

定員:第一部及び第二部 各50名

申込期限:平成26年4月25日(金)

【2014/04/21】

- ・【日本化学工業協会】2014年5月28日「日化協特別セミナー」開催

→ <http://www.nikkakyo.org/info/2314>

下記の要領で標記セミナーが開催される。

日時:平成26年5月28日(水) 13時30分~17時05分

場所:日経ホール (東京都千代田区大手町一丁目3番7号 日経ビル)

定員:610名

申込期限:平成26年5月23日(金)

内容:テーマ「化学産業にとっての持続的発展とその課題」

~世界の主要企業トップが語る、レスポンシブル・ケア、GPSと事業戦略及びエネルギー・気候変動問題への挑戦~

「レスポンシブル・ケア：持続的発展に向けての基盤」

ICCAレスポンシブル・ケアLG議長／ソルベイ

産業・政府関係担当部門長 ハンス・ユルゲン・コルテ氏

「GPS：グローバルな化学産業のプロダクト・スチュワード
シップの向上」
ICCA化学品政策と健康LG共同議長／BASF SE 上級副社長
マーティン・カイザー氏

「ICCA：グローバルな化学産業の進歩に向けて」
ICCA化学品政策と健康LG共同議長／
ザ・ダウ・ケミカル・カンパニー コーポレートディレクター
マイク・ウィット氏

「エネルギーと気候変動問題に向けたICCAと化学産業の挑戦」
ICCAエネルギーと気候変動LG議長／三菱ケミカルホールディングス
顧問 大塚 重徳氏

※ 本セミナー情報は、参加費無料のものに限定しております。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

- 【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。
→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>
- 配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。
→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html
- 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして
配信停止手続きをしていただき、新たに配信登録をお願いします。
配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html
配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html
- ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。
chem-manage@nite.go.jp

- 【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする
場合に限り、自由に行って頂いて構いません。
- 組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまで
お問い合わせください。
→ chem-manage@nite.go.jp
- 発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター
- 記事作成元：ケイ・アンド・アイ有限会社